

# ウプト

w p w t



ウプトとは、古代エジプトのヒエログリフ（象形文字の一種）で、「伝達する人」の意味。エジプト古王国の碑文などに見られ、19世紀初めにフランスのシャンポリオンが解読している。



特集

11月5日、第60回中部大学祭での70号館前屋外特設ステージの様子

## 中部大学 × オハイオ大学 学術交流協定締結50周年



# 精神科病院での私の実習体験

心理学科 願興寺 礼子 教授

日本で初めて心の専門家の国家資格「公認心理師」が誕生したのを受け、中部大学でも学部における公認心理師の養成教育が開始された。その中で「心理実習」という学外施設での実習を必須とされる科目がある。座学では得られない体験的な学びを通して臨床現場や自己に対する理解を深め、大きく成長することが期待される。

実習生は期待と不安の両面を持ち合わせて実習に臨むことになる。およそ35年前に、私もこうした機会を得た。翻って自身は、精神科病院での実習を通して何を学んだのであろうか。

その頃の臨床実習は大学院教育の中で行われており、事前指導もないまま教員が非常勤心理士をしている精神科病院に週1回1年間同行した。それは、「患者さん体験をせよ」といきなり重度精神疾患の患者さんのいる病棟に放り込まれるという、今思うと相当無謀で大胆なものであった。当時の精神科病院は今のようによく明るい雰囲気からはほど遠く、病院の中に足を踏み入れることも躊躇<sup>ちゆうちゆう</sup>されるほどだった。恐る恐る病棟に入っていくと、1点を見つめほとんど身動きをしないAさん、笑いながら近づいてきて妄想を捲<sup>まく</sup>し立てるBさん……。初めて接する統合失調症などの重度の患者さんを前に、不安と緊張が高まりどう関わったらいいのか全く分からず途方に暮れ、早くこの異様な場から逃げ出したいと願ったことを思い出す。それでも回を重ね



大学院時代の合宿で(最後列右から2番目が筆者)

# CONTENTS

桃園四季 P01

精神科病院での私の実習体験  
願興寺 礼子教授

特集 P03

中部大学×オハイオ大学  
学術交流協定締結50周年

CU Sports Spirit P07

ハンドボール部  
秋季リーグ完全優勝、西日本準優勝、  
全日本第3位

TOPIC P09

学校法人中部大学  
東京サテライトオフィスって？

学生編集委員のページ P11

大学行事を陰で支える学生の活躍

ようこそが研究室へ P13

多様な価値観から生み出す創出と  
社会課題の改善について研究  
清水 真研究室

A Friend from Abroad P14

日本語学習者の学びの難易点を研究  
応 雨静さん

私の学生時代 P15

想いをつなぐ  
中井 浩司准教授

Free Talk P16

大学院進学という選択肢を  
知ってもらうために  
武田 祥也さん、三輪 風生さん、岩田 スラジュさん

CAMPUS NEWS P17

第60回中部大学祭 etc.

Random Shot P21

フットワーク軽く、相手に寄り添って  
高木 宏明さん

活躍するOB P22

歌詞で描く物語  
マイクスギヤマさん

るうちにその場の空気に馴染んでいったことは確かだ、患者さんのことをもつと理解したいと強く思うようになっていった。そうしたある日、授業で習った「被面接者と鏡のように同じ姿勢をとると自然な相互作用が起き、共感的であると評価される」という知見を思い出し、Aさんの近くで同じような姿勢をとり続けてみた。最初は無関心であったAさんが、しばらくすると無表情のまま「お前何しているのだ」というかのように、視線を一瞬ギョロリと私に向けたのである。私という存在を認識してもらえたと思え、とてもうれしかったことを覚えている。また、妄想を捲し立てるBさんの話に耳を傾けるように努めたところ、内容の理解はできないものの、Bさんが調子の良い時と悪い時では語られる内容が異なっていることに気付くようになった。患者さんにとっては妄想にも意味があることを少し理解できたように感じた。

こうした精神科病院での実習は、私にとって強烈な原体験となり、大変重要なことを数多く学ばせてもらった。当時の患者さんに心より感謝したいと思う。



大学院の卒業式で(右から3番目が筆者)



願興寺 礼子

がんこうじ れいこ

名古屋大学大学院環境学研究科環境社会学専攻博士課程単位取得後退学。専門は臨床心理学。臨床心理士、公認心理師。バラをこよなく愛し、自宅の庭にはイングリッシュローズが40種類。モットーは「素直に生きる」。



Ohio University & Chubu University

50<sup>th</sup>  
1973 2023  
ANNIVERSARY

# 中部大学×オハイオ大学 学術交流協定締結50周年

本学とアメリカ合衆国のオハイオ大学は、  
2023年5月に学術交流協定締結50周年を迎えました。



オハイオ大学で最も古いカトラールホール

## オハイオ大学

- 創立年 1804年
- 創立者 Manasseh Cutlerほか
- 敷地面積 約1,800エーカー  
(約728万㎡)
- 学生総数 27,930人  
(2022年秋・大学全体)
- マスコット ポブキャット

### 【校訓】

Virtue Before All Things  
Religion, Learning, Civility

1804年にアメリカ合衆国オハイオ州アセンズ市に創立された州立大学で、オハイオ州で最も歴史のある大学です。文理学部、経営学部、工業技術学部などの10学部250以上の専攻を有する総合大学で、留学生も多く在籍しています。研究教育水準も高く、ジャーナリズム、航空学、会計学、地域研究、医学などでは全米上位50大学の中に数えられるものもあります。

オハイオ大学とは？



オハイオ大学の桜



オハイオ大学アセンズキャンパス全景



1973年(昭和48)5月

中部工業大学(現・中部大学)創立10年目の1973年5月26日にオハイオ大学と交流協定を締結しました。本学が海外の大学と学術交流協定を結んだのはこれが初めてです。



協定書に署名する三浦幸平学長(右)、左は徳廣龍男副学長

1973(昭和48)年9月

オハイオ大学工学部のジェームズ・C・ギルフアート教授が初代の本学客員教授として来学。任期約3カ月の間に専門分野での教育のほか、教職員を対象としたアメリカの教育訓練制度、教育行政、学生生活に関するブル・セッション全8回を開催しました。



1974(昭和49)年6月

オハイオ大学大学院への進学者第1号となった伊藤昌宏さん(昭和48年度機械工学科卒)が、機械工学専攻に派遣されました。



左から三浦幸平学長、伊藤さん、徳廣龍男副学長

1975(昭和50)年11月

1975(昭和50)年6月に逝去した三浦幸平初代学長に、オハイオ大学から生前の功績が称えられ、名誉学位が授与されました。山田和夫学長がチャールズ・J・ピン学長から学位記を受け取りました。



左から、田中友安教授、ギルフアート初代客員教授、オハイオ大学大学院への第1号留学生の伊藤さん、山田学長、第2号留学生の安井英之さん、ピンオハイオ大学長

1979(昭和54)年9月

オハイオ大学創立175周年を祝して、本学からオハイオ大学へ175本の桜の木を寄贈しました。



オハイオ大学からピン学長一行が来学。記念講演会が開催されました。学術交流協定締結20周年の記念事業として、創立者胸像前に紅白のアメリカハナミズキを植樹しました。



1994(平成6)年3月

オハイオ大学長期研修プログラムがスタートし、学生30人が参加しました。



1994(平成6)年10月

オハイオ大学との交流20周年記念事業の一環で、本学から図書500冊と新聞・雑誌等を寄贈しました。オハイオ大学からはオハイオ大学出版局の図書470冊が贈られ、中部大学開学30周年記念行事の一環で増築された図書館に、「オハイオ大学記念コレクション」として、それまでに寄贈された絵画や写真と合わせて収蔵・展示されました。また、オハイオ大学のカーターホール、ラーホールの屋根を飾るキューポラのレプリカである「ロタンダ」が寄贈されました。



2004(平成16)年6月

オハイオ大学創立200周年と学術交流協定30周年を記念して、本学からの寄付により整備された「Yamada International House」がオハイオ大学内に完成しました。また桜の木を新たな木を新たに寄贈し、オハイオ大学の桜の木は200本となりました。



2007(平成19)年12月

オハイオ大学で教鞭を執ったクリフォード・マツカーシー教授が逝去され、同教授が撮影した1945年の終戦直後の東京の写真が夫人より本学に寄贈されました。それに伴い、本学で「TOKYO 1945写真展」が開催され、全国から大きな反響がありました。







オハイオ大学から中部大学大学院への入学者(大西良三大学院特別奨学生)第1号の学生(マシュー・ジョセフ・ニガンさん)が国際人間学研究所へ入学しました。



中部大学附属三浦記念図書館3階にオハイオ・ラウンジを設置しました。



オハイオ大学のデュエイン・ネリス学長の就任式に石原修学長が参加し、学術交流協定更新の調印式も行われました。



中部大学開学50周年を記念して行われた「学長サミット」にオハイオ大学のロデリック・J・マックデービス学長が出席しました。



飯吉厚夫理事長にオハイオ大学より名誉理学博士の学位が授与されました。名代として出席した家泰弘総長に、オハイオ大学のシャーマン学長より学位が手渡されました。



オハイオ大学ネリス学長一行が中部大学を訪問しました。

中部大学からオハイオ大学へ、新たに50本の桜を寄贈。

20号館2階にKRZIC LOUNGE (カージックラウンジ)を設置。

※役職は当時のもの。

10月4日午後にはオープンングセレモニーが開催され、竹内芳美学長らが出席し、カージック先生もオンラインで参加しました。司会はオハイオ大学長期研修プログラムに参加した内田陽菜さん(英語英米文化学科3年)が務め、渡邊未空さん(現代教育学科2年)がメッセージを述べました。テープカットには武藤敬副学長、塩澤正教授(国際センター長)、ケビン・ジャンボル講師(OPELT主任)と本学マスコットキャラクター「ちゅとら」も参加しました。



2023年10月、20号館の2階にオハイオ大学との学術交流協定締結50周年を記念した、KRZIC LOUNGE(カージック・ラウンジ)がオープンしました。オハイオ大学で、本学の留学生1,700人以上を支えてきたカージック先生にちなんで名づけられたこのラウンジは、これまでの交流の歴史が分かる写真の展示や、オハイオ大学の風景を描いた壁画があります。オハイオ大学の雰囲気味わいながら英会話や国際交流ができる場所で、座席数は約50席、北側窓際の席からは潜龍池を望むことができます。



KRZIC LOUNGE オープン!



## 盛んな交流

オハイオ大学との学術交流協定を結んで以来、両校の間で十数項目におよぶ学生交流・研究交流・文化交流が活発に行われています。

## 教職員交流

オハイオ大学から中部大学へ「三浦幸平客員教授」として1973年から2023年までに45人が中部大学に派遣されました。また、中部大学からは「ロバート・グリデン客員教授」として2003年から2023年までに19人がオハイオ大学へ派遣されました。

## OPELT

Ohio Program of English Language Teaching

中部大学の学生に英語を教えるための教員が、1977年からオハイオ大学より送られています。現在もオハイオ大学が認めた5人のOPELT教員が在籍し、PASEO(Program for Academic Study in English Overseas)を中心に英語科目を担当しています。

## 学生交流

1973年から2023年までに2,119人の中部大生がオハイオ大学に派遣されています。そのうち、オハイオ大学大学院の奨学金留学では95人が、オハイオ大学長期研修では1,699人が派遣されています。



## 多彩なオハイオ大学への留学制度

### オハイオ大学長期研修プログラム

2年次の春学期(英語英米文化学科は2年次秋学期)にオハイオ大学での留学プログラムに参加します。英語、専門科目、体育、文化体験などの授業を受講し、学生寮でオハイオ大学の学生と一緒に生活をします。毎学期40人ほどが派遣されています。現地で修得した学業成績は、中部大学の単位として認定されます。



### オハイオ大学大学院奨学金留学制度

学部を卒業後、オハイオ大学大学院の修士課程に入学が許可された者を対象に奨学金が支給される制度です。授業料が免除され、生活費が支給されます。対象は本学の学部を卒業見込みの学部4年生、または卒業後5年以内の卒業生です。本学およびオハイオ大学大学院の審査により受給者が選ばれます。

### 派遣留学

「交換留学生」として本学に在籍しながら、オハイオ大学に留学する制度で、返済不要の奨学金も支給されます。対象は、本学に1年以上在籍している学生で成績優秀、かつ一定の語学力基準を満たしている学生です。現地ではオハイオ大学の学生と一緒に正規の学部授業を受講します。

## 学術交流協定締結 50周年記念サイト公開中

「中部大学×オハイオ大学学術交流協定締結50周年記念サイト」が2023年4月に公開されました。サイトには、これまでの交流の歴史やオハイオ大学の概要をはじめ、過去に留学経験がある中部大生・卒業生や中部大学に留学経験があるオハイオ大生・卒業生、関係者からのメッセージも掲載されています。メッセージを募集していますので、ぜひご投稿ください。



中部大学×オハイオ大学  
学術交流協定締結  
50周年記念サイト  
<https://ohio-chubu.jp/>

## 記念セレモニー開催!

2024年5月(予定)、オハイオ大学との学術交流協定締結50周年を記念した式典が本学で開催されます。オハイオ大学からローリー・スチュワート・ゴンザレス学長が来学予定で、学生が参加可能なイベントも開催予定です! 乞うご期待!





中部大学のスポーツに関するホットな話題を取り上げる企画「CU Sports Spirit」。

今回は、春季・秋季リーグで無敗の完全優勝、第62回西日本学生ハンドボール選手権大会で準優勝、

全日本学生ハンドボール選手権大会で第3位と大活躍のハンドボール部を紹介します！

# 男子第62回西日本学生 ハンドボール選手権大会 準優勝



8月8日からスカイホール豊田（愛知県豊田市）で開催の男子第62回西日本学生ハンドボール選手権大会に出場したハンドボール部（東海学生ハンドボール連盟）は予選Aグループで、龍谷大学（関西学生ハンドボール連盟）に39対25、京都大学（同）に41対16、京都産業大学（同）に29対14で勝利し、1位で通過しました。決勝トーナメントでは福岡大学（九州学生ハンドボール連盟）に44対36

で勝利し、関西学院大学（関西学生ハンドボール連盟）にも38対34で勝利し決勝戦へ。

8月13日に行われた決勝戦では、大阪体育大学（同）と対戦しました。得意のスピードのある攻撃を武器に順調に得点を重ね、18対10と8点のリードで前半を終えます。後半は大阪体育大学が戦略を速攻性のある攻撃的なデフエンスシステムに変更し、本学ハンドボール部はペースを乱され、徐々に攻撃のリズムが悪くなつてしまいます。じわじわと点差を詰められ、ついに30対31と逆転されますが、終盤になんとか追いつき、延長戦へ。延長戦前の休憩時間ではお互いに声を掛け合っていた選手たちでしたが、大阪体育大学の勢いを止めることができず、34対40で敗れ、準優勝となりました。



# 秋季リーグ戦も 完全優勝、 春秋連覇！

9月2日から10月8日まで開催された令和5年度東海学生ハンドボール秋季リーグ戦（男子）では、新しい攻撃の展開を導入するなど春季リーグ戦からパワーアップした戦術で初戦から順調に勝ちを重ね、9月17日時点で、6戦全勝とします。9月24日からの残る3試合は本学と同様に6戦全勝の大同大学・名城大学・中京大学との厳しい全勝対決になりました。24日の大同大学戦では、前半、5点のリードを得ながらも後半には相手の攻撃に押され、逆転を許してしまいます。その後一進一退の攻防が続きますが、大同大学の3連続得点もあり27対28と1点リードされます。それでも慌てず自分たちのプレーを貫いて同点に追いつき、残り4秒に中島遼也選手（経営総合学科3年）が決勝ゴールを決め、31対30で勝利しました。その後の名城大学、中京大学との連戦では強豪を相手にチーム一丸となり、スピードのある攻撃で戦い抜き、名城大学には32対27で、中京大学には33対30で勝利しました。春季リーグに続く無敗の完全優勝で、本学ハンドボール部にとっては2005年以來の春秋連覇となりました。





# 高松宮記念杯男子第66回 全日本学生選手権大会 第3位!



11月4日から8日まで、函館アリーナ(北海道函館市)をメイン会場に開催された、高松宮記念杯男子第66回全日本学生ハンドボール選手権大会に43年連続44回目の出場を果たし、第3位となりました!



1回戦は過去インカレ優勝23回の強豪校、日本体育大学(関東学生ハンドボール連盟)と対戦。開始1分、相手のエースに先制されますが、その1分後、キャプテンの谷前知優選手(経営総合学科4年)のゴールですぐに同点とします。その後も日本体育大学に最大7点差をつけられる苦しい試合展開となりますが、なんとか相手に迫り、前半を17対18と1点ビハインドで終えます。後半開始2分、日本体育大学に1点を追加されますが、その直後の後半3分に清水大地選手(日本語日本文化学科4年)のゴールで再び1点差に詰め寄ると、続く後半6分に清水選手とのゴールで同点に追いつきます。両者一歩も譲らないシーソーゲームの展開となりますが、後半12分、谷前選手を皮切りに3連続ゴールが決まり、25対24と逆転に成功します。その後も順調に得点を重ね、35対33で1回戦を突破しました。

2回戦では桃山学院大学(関西学生ハンドボール連盟)と対戦し、井上和也選手(経営総合学科3年)が8得点を挙げるなど順調な試合運びで43対33と10点差で快勝しました。続く3回戦は、国士舘大学(関東学生ハンドボール連盟)と対戦し、谷前選手・吉原悠馬選手(経営総合学科3年)がそれぞれ9得点を挙げ、相手の堅固な守備にも対応するなど、35対25で勝利しました。



©JHASポーツイベント・ハンドボール

準決勝では、筑波大学(関東学生ハンドボール連盟)と対戦。開始37秒、小林夢選手(経営総合学科3年)が先制すると、すぐにピサノライアン海夏人選手(経営総合学科4年)が追加点を挙げます。その後もスピード感のある攻撃で前半10分、7対4と3点リードとします。ところが、筑波大学のゴールキーパーにシュートを阻まれ徐々にペースを乱されて逆転され、前半を12対13と1点ビハインドで折り返します。後半、立ち上がりから得点を許す展開に、本学も果敢に攻めますが、筑波大学の厚いディフェンスに阻まれ、思うようなプレーができず苦しみます。それでも中島選手や吉原選手などがゴールを決めますが、一歩及ばず24対29で敗れ第3位となりました。

今大会29得点の谷前選手はベスト7に選出されました。





# 学校法人 中部大学

# 東京サテライトオフィス

首都圏での活動に利用しよう！

コソソ？



本学は、関東での就職活動や実習時にも利用できる、東京サテライトオフィスを設けています。

商業の中心地である日本橋にあり、東京駅から徒歩10分、日本橋駅から徒歩1分とアクセスも抜群です。

学生に便利なサービスも充実しているのでぜひ利用してみたいかがでしょうか。



## 施設紹介



### ラウンジ・インターネットスペース

インターネットスペースにはパソコンが2台とプリンターが設置されています。また、パーティーなどで仕切られた席が2席設けられ、書類の作成など集中したい時に便利です。ここで仮眠をとることもできます。



### 更衣室

着替えに利用できます。2室あり、各更衣室にはロッカーが2台設置されており、荷物を預けることもできます。ロッカーに入らないスーツケースなどの大きな荷物は、事務スペースで預かってもらえます。



### 会議室

最大24人まで利用できます。会議やクラブ・ゼミなどの打ち合わせやオンライン面接にも利用することができます。利用には事前予約が必要です。

利用予約はこちら▶



## 学生にうれしい充実のサービス /



パソコン、iPad、プリンター、Wi-fi完備



荷物預かり



更衣室



就職関連の参考書(SPI、エントリーシートの書き方、会社四季報など)



日経新聞、中日新聞など各種新聞



スマホの充電器



会議室・応接室(要予約)



飲食可能



東京、周辺施設の案内





# 利用例

CASE 2



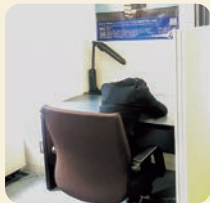
選考などを  
終えた後に来所



ラウンジにある参考書で、  
次の選考に向けて少し勉強



ラウンジで休憩、  
少し仮眠も…



周辺散策マップで  
東京のおすすめ  
スポットを確認

ランチ  
マップも  
あるよ

帰宅



CASE 1



夜行バスで  
早朝に東京着



ファストフード店などで  
時間をつぶし、  
9時の開所と同時に来所



更衣室で着替え、  
メイク、ヘアセット



スーツケースを預ける

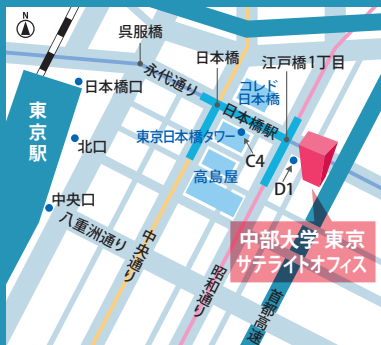
メールチェックや  
書類の作成

履歴書の  
用紙と封筒も  
あります

いざ、企業の説明会や  
選考へ



## 予約不要、学生証の提示 のみで利用できます



【学校法人中部大学東京サテライトオフィス】  
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-16-13  
ランディック日本橋ビル10階  
月～金曜日 午前9時～午後5時  
(祝祭日、夏季休業日、冬季休業日、学園の記念日を除く)



東京駅 東海道新幹線「日本橋口」から徒歩10分。「日本橋口」より永代通りに出て右方向へ直進し、「江戸橋1丁目交差点」を越えすぐ。東京メトロ銀座線・東西線「C4」出口から徒歩4分。または都営浅草線「D1」出口から徒歩1分。



## 東京サテライトオフィスを訪問して

東京サテライトオフィスには、2つの魅力があると感じました。1つ目は、駅から近いことです。交通アクセスが良いので就職活動の前後に寄りやすく、便利だと思いました。2つ目は設備が充実しているということです。オンライン面接や打ち合わせができる会議室、仮眠や軽作業がしやすい仕切りのあるスペース、パソコンなど学生が非常に使いやすい設備が整っていました。ぜひ皆さんに活用してほしいと思います!

ウプト学生編集委員 現代教育学科4年  
林 桃歌さん



## 動画でも紹介しています!

中部大学を学生が独自にSNSで発信している、学生SNS広報委員のInstagramとX(旧Twitter)アカウントで東京サテライトオフィスについて紹介しています。東京駅、日本橋駅からの行き方も紹介しているので、ぜひチェックしてみてください。

Xアカウント | Instagramアカウント  
@ChubuSns | @chubu\_sns

このアイコンが目印です!





## EMS\*研究会

※Emergency Medical System

# 大学行事を陰で支える 学生の活躍



笠松 耕大さん  
スポーツ保健医療学科3年

活動内容について  
教えてください。

救急救命士を目指している学生を中心に、月曜日と木曜日の5コマ目の時間に活動しています。現在約30人が所属し、グループごとに救急救命に関わる措置を練習しています。学外でもボランティア活動をしており、名古屋グランパスのホームゲームでは年間約20試合、救護のボランティアをしていきます。引率の先生に傷病者の情報を正確に伝え、より早く処置できるように活動をしています。



活動内で苦労したこと、大変だったことは何ですか。

3年生が2人しかおらず、一時は活動の継続が困難な状況でした。先輩と力を合わせ、スタートアップセミナーでチラシを配って宣伝したり、体験会を開いて活動の様子を知ってもらう機会をつくるなど勧誘した結果、現在は2年生10人、1年生20人が入会してくれて活動を続けることができますようになりました。



在学生にメッセージを  
お願いします。

早い時期からこの活動をする事で救急救命士という夢により近づけると思っています。救急救命士を目指す皆さん、ぜひ僕たちと一緒に活動しませんか。

## 放送研究会



副部長  
生田 紋菜さん  
コミュニケーション学科3年



部長  
古川 郁哉さん  
歴史地理学科3年

活動内容について  
教えてください。

放送研究会の主な活動は大きく分けて3つあります。1つ目は、2週間に1回、水曜日の12時50分〜13時20分、「中部大学放送（CHU-CHUテレラジオ）」という番組をYouTubeで生放送しています。2つ目は、年に3回、学内の大きなイベントを生中継しています。全学学科対抗スポーツ大会、夏のオープンキャンパス、大祭の3つです。3つ目は、春日井市や小牧市などをカバーするケーブルテレビCCNetで「中部大学アワー」という番組を放送しています。これらの番組制作の企画、取材、撮影、編集、生放送の配信など、運営全てを学生の手で行っています。

大学で行われる行事は、教職員だけではなくたくさんの学生が一緒に運営を支えてくれています。今回はそんな「縁の下」の力持ちの学生たちを紹介します。

サークル活動を通して意識することややりがいは何ですか？

場面切り替えや最初の出だしに自然の風景を映すことがあるので、草花などの自然を意識して見るようになりました。また取材で多くの人と関わることが多いので、コミュニケーション力が身に付いたと思います。イベントの生放送は準備が大変ですが、終わったときにはとても達成感が味わえます。



在学生にメッセージを  
お願いします。

活動の中で新しいことを知り、体験することです。皆さんの刺激を受けることができます。放送研究会の活動をもっといろいろな人に知ってもらい、興味を持ってもらえるとうれいです。





## ウプト 学生編集委員の 私たちが企画・ 取材しました



石博 大宙  
国際学科  
4年



林 桃歌  
現代教育学科  
4年



飯田 ひとみ  
現代教育学科  
4年



熊野 千菜  
環境生物科学科  
3年



塚本 愛美  
ロボット理工学科  
2年



西岡 夏実  
ロボット理工学科  
2年



河村 明音  
日本語日文化学科  
2年



伊藤 帆乃佳  
日本語日文化学科  
2年



小林 愛実  
日本語日文化学科  
2年



江口 心  
日本語日文化学科  
2年



阿部 倫弥  
歴史地理学科  
1年



### ウプト学生編集委員募集中

いつからでも始められます。少しでも関心のある方は、学園広報部制作課(2号館1階)までお越しください。電話、メールでもお問い合わせ可能です。

☎ 0568-51-4465

(学園広報部制作課直通)

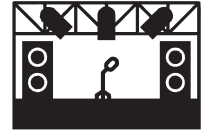
✉ seisaku@office.chubu.ac.jp

### 活動内容について 教えてください。

大学祭実行委員会は企画部・広報部・運営部の3つの部門から成り立っており、毎年11月に行われる大学祭の企画から、運営に必要な物品の準備、広報活動、プログラムの作成や来場者の対応などを行っています。



大野 夢叶さん  
コミュニケーション学科2年



### 在学生にメッセージを お願いします。

今回は第60回という節目の開催で、新型コロナウイルス感染症の規制もほぼなくなり、いつも以上に力が入った大学祭になったと思います。今後も中部大学祭実行委員会にご期待ください。

# クラブ運営委員会



副委員長  
上野 康志郎さん  
応用化学科3年



委員長  
粕谷 聡太さん  
宇宙航空理工学科3年

第61期クラブ運営委員会

### 活動内容について 教えてください。

部屋の管理や備品(テントや鍵)の貸し出し、各クラブの援助金の予算計画や大学内外で行う活動の承認、大学行事の運営・サポート(eスポーツ大会・全学学科対抗スポーツ大会・Chubu Waterなど)を行っています。1年の中で最も大きいイベントは新入生勧誘企画「春祭」で、代々続く歴史ある行事です。Chubu Waterは岐阜県恵那市にある研修センターから中部大学までの約44kmを仲間と共に歩くイベントで、事前の安全確認や当日の誘導など朝から夜まで運営をサポートしています。

### どのように集まってるのですか?

クラブ運営委員会通称:クラブ運は、各クラブから4年に1度1人が選出されて運営しています。皆、所属するクラブ代表という自覚をもって活動しています。

### 在学生にメッセージを お願いします。

備品の貸し出しを行っています。何か必要なものがあればぜひクラブ・サークルラザ2階のクラブ運室にお越しください! また、新入生で部室が分からない見学したいクラブの活動場所が分からないなどの場合でも気軽に相談してください。クラブ運を知ってほしいです。活動自体はあまり目立ちませんが、クラブの垣根を越えてみんなで頑張っています。赤いパーカーが目印なので、見かけたら応援をよろしくお願いたします。





ようこそ

# わが研究室へ

vol.181

経営総合学科  
清水 真研究室

## 多様な価値観から 生み出す創出と 社会課題の改善について研究

清水ゼミでは、愛知県立春日井泉高校（2023年4月に春日井商業高校から校名変更）との高大連携授業を行っています。また、3年次春学期の授業では地元企業との協働でスイーツの新商品開発から販売までを行いました。座学だけではなく実際に試作品を作り、春日井まつりで販売を行うなど実践的な授業で楽しく学ぶことができました。また、秋学期の授業ではさまざまなビジネスプランコンテストに参加しました。ゼミのメンバーが6つのグループに分かれて、新規性・市場性・競争優位性・実現可能性の観点から企画書を作成し、プレゼンテーションを行いました。私たちのグループは、情報収集と意見交換を積極的に行い、改良を重ねたことで、複数の企業から成る、ICTビジネス研究会主催の東海大会でParsons賞を受賞しました。現在は3年次の活動で身に付いた調査分析やプレゼン資料作成に関する知識をもとに、関心のある分野に関する卒業論文を作成しています。

本ゼミは、高校生と連携して行うグループワークや社会人との協働作業などを体験できるため、幅広い価値観に触れながら知識を身に付けることができます。今後も積極的に意見交換を行い、互いに良い刺激を受けて高め合える関係を築いていきたいです。



ゼミ生レポート



経営総合学科4年

戸田 侑李

ゼミ生に  
ひとこと



経営総合学科  
しみず まこと  
清水 真 教授

清水研究室では、市場の動向、消費者行動、商品開発、商品陳列、プロモーション、そして販売に関する内容を主としたマーケティングの調査、研究を行っています。地元の企業とコラボすることで、学生の皆さんが座学で学習した内容を「スイーツ」を通じて実践することができました。皆さんが商品開発から販売まで楽しそうに取り組んでいる姿勢が印象に残っています。会社に就職した後も、楽しみながら仕事をしてください。

先生はこんな人

清水先生は学生と同じ目線に立ち、とても親身になって話を聞いてくださる先生です。疑問点や不安要素に関して相談に伺うと、忙しい時でも時間を空けて話を聞いてくださいます。また、私たちのさまざまなアイデアに対して、先生の経験やノウハウをもとに幅広い角度からアドバイスをくださるので、より具体性を持ったプランを作成することができます。







File.109

Ying Yujing  
応雨静さん  
日本語日本文化学科4年

# A Friend from Abroad



**中国(江西省)**  
中国南東部にある省で、省都は南昌市。人口は約4,520万人で面積は166,900 km<sup>2</sup>。中部国際空港から上海の国際空港で乗り継ぎ約5時間30分の場所にある。水田、河川、山々のある牧歌的な風景で知られる。壮大で美しい風景から山水画の発祥となった中国有数の避暑地「廬山」(ろざん)があり、中国東南部の第一級の名山とされている。



## 日本語学習者の 学びの難易点を研究

**Q. これまでの経緯と学んでいることを教えてください。**

私は中国の江西省の大学を卒業してから来日しました。日本語学校で1年半ほど勉強してから、中部大学に入学しました。今は日本語日本文化学科で日本語教育について勉強しており、日本語学習者が日本語を学ぶ際の難易点について研究しています。今は卒業研究で日本語学習者が「こそあど言葉」について学ぶ方法を研究しています。自分が学ぶときに難しいと思ったのでこのテーマにしました。

**Q. 課外活動は何かしていますか。**

commonsサポーターに携わっています。不言実行館の2・3階の学生スペースと設備の管理や、学生向けの企画やイベントを立案・運営をしています。以前、日本人と留学生の混合グループで交流の機会を作りたいと思い、「異文化交流中国の正月」というイベントを企画しました。クイズを出してSDGsについて考えたり、餃子作りをしました。

**Q. 日本の中で好きな場所とその理由を教えてください。**

私は名古屋が好きです。大都市ですが自然豊かな場所もあり過ごしやすく魅力的です。また、さまざまな施設があって、生活しやすい街だと思います。まだあまり遠方に行ったことがないので、ぜひ他の有名な観光地にも行ってみたいと思っています。

**Q. 出身地について教えてください。**

出身地の江西省は自然が豊かな所で、景德镇という陶磁器を産業としている都市があり、世界的にも有名です。この陶磁器は非常に高い技術で作られているので、宋代以降の宮廷などでも使われてきました。ほかに有名なのは鄱陽湖という湖で、中国の淡水湖で最も面積が大きく名古屋市はようこの12倍ほどの広さがあります。絶滅危惧種の生物も多く生息していますが、ここで捕れるカニが美味しいです。また、江西省はすごく辛い食べ物があります。若い人たちの間では、一番辛い食べ物が食べられるのは江西省と言われるほ

どです。有名な料理は「粉蒸肉」という豚肉に米粉をまぶして蒸した料理です。

**Q. 将来の夢を教えてください。**

自動車関連の企業に就職したいので、精一杯就職活動を頑張りたいと思います。来日した際に、いろいろな人が優しく対応してくれました。日本語の勉強も続けて、今度は自分が手助けする立場になり、日本と中国の文化交流を促進できればと思っています。



〈取材〉  
学生編集委員  
ロボット理工学科2年  
塚本 愛美

学生編集委員  
国際学科4年  
石樽 大宙



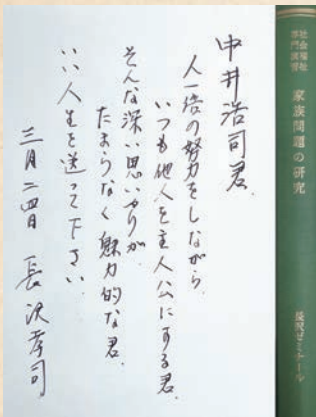
# 私の学生時代

臨床工学科 中井浩司 准教授



## 「想いをつなぐ」

私は今まで4回の大学時代を経験している。1回目は、現役大学生時代、2回目は、脱サラして臨床工学技士国家資格を取得した時代、3回目は、臨床研究に没頭し研究成果を追い求めた社会人大学院生時代、そして4回目は、今現在、臨床工学科教員として博士号取得を目指している時代である。どの時代も学びの充実感に満ちていたが、最も印象深いのは「学問の自由」を初めて味わった最初の大学生時代



▲写真1 卒業論文巻末の長沢先生のコメント

だ。共に学ぶことの楽しさ、厳しさ、仲間の大切さを実感した。この感動に触れることができたのは、卒業研究を通してだった。当時一番人気の長沢孝司教授の家族社会学に魅了されて配属を希望した。ゼミは、個性豊かで圧倒的に行動的、にぎやかな仲間が集まったが、その裏に大きな弱点も内包していた。それは、端的に言えば相互の深い内面を理解し合えないという点であり、また、その点を落ち着いて語り合えないという点でもあった。

卒業論文を仕上げていく過程で、われわれはその弱点にもようやく気がつくようになり、弱点を乗り越える努力を誰もが惜しまなかった。その一つ一つの努力は実例を挙げればきりが無い。だが、一つだけ挙げれば、われわれは各自の草稿にできる。だけ目を通し、朱入

れし合い、アドバイスし合った。これまでいろいろな学生時代を乗り越えてきたが、ここまで踏み込んで相互に励まし合ったゼミを私は経験したことがない。今思うとこれも長沢先生によつて仕組まれた自由と導きなのだろう。卒業論文が完成し、ハードカバーに収められ、それぞれの想いが詰まった厚い本に先生が一人一人コメントを書いてくださった(写真1)。12人の卒業論文を一人で指導されていた先生だが、それぞれに時間をかけて向き合いしつかり見ていくくださった。

長い時を経て、私は大学教員としてゼミ生を指導する立場となった。私は一人一人をしつかり見られているだろうかと不安がよぎり自問する。その時、長沢先生から受けた指導や、共に頑張ってきたゼミの仲間の姿が思い浮

かぶのだ。その想いをつなぐこと。後進に対してそれが私にできること。一人一人に対して愛情と熱意を注ぎ彼らを導く手助けとなれば。彼らが学問を楽しみ将来に真剣に向き合う姿を垣間見たとき、瞳の奥に、かつての私の心を躍らせたあの日を思い出させる。



▲写真2 ゼミ合宿 休暇村茶臼山高原にて前列右端が長沢先生、その隣が筆者



Free Talk  
私にも書かせて



機械工学専攻 博士前期課程2年 三輪風生  
生命医科学専攻 博士前期課程2年 武田祥也  
機械工学専攻 博士前期課程2年 岩田スラジュ

# 大学院進学という 選択肢を 知ってもらうために



学修に関する相談を受けるアドバイザー

中部大学学生生活アドバイザーという活動をご存知でしょうか。

3人の大学院生がX(旧

Twitter)および対面にて学生の皆さんの相談や悩みを解決するサポートを行っています。

2022年3月に夢・チャレンジ「ちゅとらポ」の短期的な企画として開始して以来、企画の期間終了後にも非公式のボラン

ティアとして活動を続け、合計4000件近くの質問や相談

を受け付けてきました。

そんな活動の原点は、「大学院の魅力をもっと学部生に知ってほしい」という私たち3人の会

話でした。大学院では、学部4年間は身に付けられないような、論理的思考力、協調性、高度な専門知識などを身に付けるこ

とができます。そのメリットを知らずに4年間で卒業するのはもったいないと思い、1人でも多

くの学生に大学院進学の意義を感じてもらうことに加え、大学

さまざままで、特に多

かったのは新入生からの講義室や履修

登録、事務手続き、学部ごとの予定に

関する質問でした。そこで私たちは学

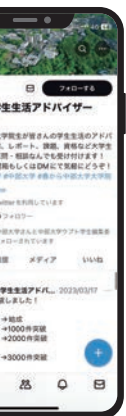
業や研究以前に、大学の支援制度や情

報が周知されていないことへの

問題意識と同時に、学生の情報

リテラシーが低いことを感じま

した。さまざまな情報が溢れる



アイコン



QRコード

投稿画面

生活や学びのサポートにより、私たち大学院生も自己成長ができる仕組みを作りたいと思ったことがきっかけでした。

活動開始以前は学業や研究、生活に関する質問を想定していました。しかし実際には、ほっこりする質問から生活での悩みなど

世の中で、適切に活用していくことは必要であり、そのレベルも高くなり続けています。このような現状の中、私たちは学生にも情報リテラシーを磨いてほしいという思いで情報を発信し、調べれば分かる質問には、その情報の記載がある大学Webページ・アプリへの誘導を主として実施してきました。

もちろん既にそうした力が身に付いている学生も多くいます。また、苦手な学生が悪いというわけではなく、この力を磨くこ



# CAMPUS NEWS



## 第60回中部大学祭

11月3～5日、第60回中部大学祭が開催された。今年のテーマは「Lively」。コロナ禍以前の開催に戻り、研究発表展、学生・クラブ有志企画、模擬店が全日程を通して行われたほか、2日目には「中部大学杯eスポーツ大会」が開催され学内外から14人が参加した。また、同窓会主催の卒業生を対象としたホームカミングデーも開催された。3日目には、ゲストにラバーガール、モグラライダーを迎えたお笑いライブ・後夜祭などが行われた。



## 2023年度秋季学位記授与式

9月29日午前、三浦幸平メモリアルホールで2023年度秋季学位記授与式が開催され、学部31人、大学院博士前期課程6人に学位記が授与された。代表謝辞は大倉大佑さん(大学院創造エネルギー理工学専攻博士前期課程2年)。



## 第3回伊藤早苗賞表彰式

7月19日午後、第3回伊藤早苗賞表彰式が行われた。2023年度は若手女性研究部門で中島江梨香講師(応用化学科)と荒川尚子講師(保健看護学科)が、女子大学院生部門で高桑麻由佳さん(大学院電気電子工学専攻博士前期課程2年)が受賞した。





## 中部大学フェア2023

9月14日、中部大学フェア2023が開催され、延べ499人が来場した。特別講演は、稲葉善治氏(ファナック株式会社 取締役会長)が「産業用ロボットが創る近未来の製造業」をテーマに講演。ミニ講演会、研究シーズ紹介、技術相談・知的財産相談、持続社会創成教育プログラム(PEPS)2023年度研究交流会などが行われた。



## PBLゼミ2023

9月13・14日、PBLゼミ2023が開催され、学生24人が参加した。中部大学認定資格「地域創成メディエーター」の取得を目指す学生たちが、学部・学科・学年の垣根を越えて、混合グループで自己の探求やコミュニケーションについて体験的に学んだ。



## 我が国の規制薬物とその規範意識

10月4日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールで「我が国の規制薬物とその規範意識」をテーマにした講演会が開催された。講師は前野善孝教授(食品栄養科学科)で、国内の薬物に関する法律、薬物事犯での検挙人数の推移、薬物使用による副作用などについて講演した。



## ボランティア・NPOセンターが子ども食堂へ寄付

7月15日午後、中部大学ボランティア・NPOセンターの環境対策プロジェクトの学生が大学付近の畑で育てたナスを、春日井市の子ども居場所応援団「あいあい」に寄付をした。ナスは施設の職員と焼きナスやパスタなどを一緒に調理し、子どもたちと一緒に味わった。



## 第62回フレッシュマンキャンプ

8月4～6日、岐阜県高山市にある中部大学新穂高山荘で2泊3日の「フレッシュマンキャンプ」が行われ、1年生31人と上級生のリーダー学生11人が参加した。キャンプファイヤー、穂高鍋作りなどを行い、交流を深めた。



## 新穂高山荘閉業

2024年3月31日をもって岐阜県高山市にある中部大学新穂高山荘が閉業する。新穂高山荘はこれまでフレッシュマンキャンプやCAAC(中部大学アクティブアゲインカレッジ)のオリエンテーション合宿などに利用されてきたが、建物の老朽化や利用者の減少などに伴い閉業することとなった。

第62回フレッシュマンキャンプの最終日となった8月6日には、新穂高山荘でのラストキャンプアウトセレモニーが開催され、家泰弘総長をはじめとする教職員、OB・OGなど69人が参加した。セレモニーでは第20回・第50回で埋めたタイムカプセルの掘り起こしも行われ、タイムカプセルは開封せず春日井キャンパス内創立者胸像付近に埋め直した。



## 日本伝統文化推進プロジェクト

### 日本舞踊公演会

7月12日午後、三浦幸平メモリアルホールで日本伝統文化推進プロジェクト主催の日本舞踊公演会が開催され、学生130人が参加した。日本舞踊西川流四世家元の西川千雅客員教授の講話・実演と弟子のアリエノール ブランディヌ ベネディクトマリー カトナ氏による舞踊が披露された。



## 【COC継続事業】サマースクール2023 in 郡上

8月24・25・31日、COC+事業参加大学(中部大学、岐阜大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、中部学院大学)合同の「サマースクール2023 in 郡上」が開催され、本学の学生7人が参加した。各地域が抱える問題に対し、学生が合同で解決策を提案した。





## 宇宙航空学科、Chubu Aerospace Teamが 航空宇宙フェア2023に出展

8月26・27日、名古屋市の電気文化会館で開催された「航空宇宙フェア2023」に、宇宙航空学科と夢・チャレンジ「ちゅとらボ」採択プロジェクト「Chubu Aerospace Team (旧スペースガールズ+)」がロケット模型・フライトシミュレータ・流体の可視化装置などを出展した。子ども向けに、炭酸入浴剤で発射するミニロケット打ち上げも実施した。



## 被災地支援活動

9月8・9日、中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が宮城県気仙沼市を拠点に被災地支援活動を行い、気仙沼市東日本大震災遺構、伝承館等を視察した。合わせて気仙沼市内の遺族会から依頼を受け、慰霊碑周辺の清掃活動を実施した。2011年9月の初訪問から12年目、20回目となった。



## 食品栄養科学科×経営総合学科× 株式会社オークワ

9月27日、食品栄養科学科管理栄養学専攻の香西はな研究室と経営総合学科の清水真研究室の学生が考案した、女性をターゲットとしたお弁当の試作品を株式会社オークワの担当者に発表した。採用されたお弁当はオークワ春日井店で11月17～21日(2種類は18・19日のみ)に販売した。



## インド工科大学の学生を 短期研究インターンシップで受け入れ

学術交流協定校であるインド工科大学グワハティ校から電子電気工学科2年ソウラジャ・クンドゥ(Souraja Kundu)さんを5月20日～7月16日の約2カ月間、短期研究インターンシップで受け入れた。インド工科大学はインドのトップ大学として23校のキャンパスから構成され、いずれもITエリートを数多く輩出していることで知られる。滞在中は中部大学短期特別研修生として岩堀祐之教授(情報工学科)のもとで、ディープラーニングを用いた医用画像を生成変換する研究に取り組んだ。



左から竹内芳美学長、ソウラジャさん、岩堀教授

## CU-Robocon2023

7月29日、三浦幸平メモリアルホールで、中部大学学長杯争奪LEGOロボットコンテストCU-Robocon2023「WRO Japan 2023東海地区予選会」(高校生部門)が開催され、18校28チーム69人が出場した。成績上位2チームにWRO Japan決勝大会への出場権が与えられた。



## あつまれ!! わんぱく隊

8月5日午前、現代教育学研究所と現代教育学部主催の「あつまれ!! わんぱく隊」が開催された。わんぱく隊の学生が年中から小学2年生までの子どもを対象に、「光で遊ぼう」をテーマに影絵やシルエットクイズを行った。



## オープンキャンパスを開催

8月4～6日、夏のオープンキャンパスが行われ、3日間で7,136人の高校生・保護者らが来場した。各学科の学生も学生スタッフとして盛り上げた。また、秋のオープンキャンパスが9月30日に開催され、高校生・保護者ら1,488人が来場した。



## Chubu Aerospace Teamが なごや・サイエンス・ひろばに出展

8月26日、名古屋市のなごやサイエンスパークで開催された「なごや・サイエンス・ひろば2023」に、宇宙航空学科の学生が中心となり活動している夢・チャレンジ「ちゅとらボ」採択プロジェクト「Chubu Aerospace Team (旧スペースガールズ+)」が出展。ロケットエンジンの展示のほか、猫型ロボットのプログラミングを子どもたちに教えた。





## 岡島和輝さん、服部航さん、八木悠希菜さんが 開発した和菓子が春日井市の特産品に認定

岡島和輝さん(経営総合学科3年、清水真研究室)、服部航さん(同)、八木悠希菜さん(同)が春日井市の和菓子屋「御菓子司 美乃雀」と共同開発した和菓子「サボテン大福」が、8月22日に春日井商工会議所で行われた「春日井特産品認定審査会」で春日井市の特産品として認定された。



## サマーコンサート

7月5日午後、キャンパスプラザ1階の学生ラウンジで「サマーコンサート」が開催され、管弦楽団が演奏を披露した。



## 星空かんさつ会

8月25日午後、中部大学天文台主催の「星空かんさつ会」が開催された。天文台天体観測所内で天文についての解説が行われた他、天文台観測室や第1学生駐車場で夏の夜空の観察を行った。会では天文学生サポーター10人の活躍もあった。



## 学生向け備蓄品配布会

7月5・6日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA1階エントランスギャラリーで、中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が、学内に備蓄されている災害用備蓄品のうち、消費期限が迫っているものを在学学生に向けて配布した。同時に「ローリングストック」についても自作のチラシを使い呼びかけた。



## 山中都史美さんが 第17回Motor Control研究会で 若手奨励賞を受賞

山中都史美さん(大学院ロボット理工学専攻博士後期課程3年、平田豊研究室)が、8月24~26日に東京大学で開催された第17回Motor Control研究会で若手奨励賞を受賞した。発表タイトルは「視覚・前庭覚間で共有される反射性眼球運動の予測的リズム」。



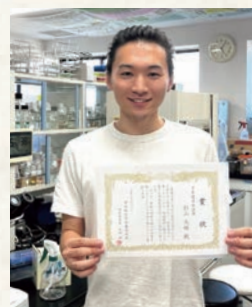
## 萩永裕太さんが 一般社団法人電気学会産業応用部門で YPC論文発表賞を受賞

萩永裕太さん(大学院電気電子工学専攻博士前期課程2年、長谷川勝研究室)が一般社団法人電気学会産業応用部門よりYPC論文発表賞を受賞した。この賞は、2023年8月に開催された電気学会産業応用部門大会にて発表された138件の発表論文の中から上位14件に授与されたもの。発表タイトルは「トルク微分値操作に基づくSynRMのトルク応答制御」。



## 杉山大騎さんが 日本線虫学会第30回大会で 学生優秀発表賞を受賞

杉山大騎さん(大学院応用生物学専攻博士前期課程1年、長谷川浩一研究室)が、9月6・7日に法政大学小金井キャンパスで開催された2023年度日本線虫学会第30回大会で学生優秀発表賞を受賞した。発表タイトルは「昆虫病原性線虫Steinernema monticolum KHA701の共生細菌叢および殺線虫活性評価」。



## 山本悠貴さんがFIT奨励賞を受賞

山本悠貴さん(大学院ロボット理工学専攻博士前期課程2年、稲垣圭一郎研究室)が大阪公立大学で開催された第22回情報科学技術フォーラム(FIT2023)でFIT奨励賞を受賞した。発表タイトルは「走行環境内の認知対象への注意と事象関連電位P300の関係」。





## 新任の教員を紹介します。

①最終学歴 ②学位 ③専門分野 ④前職 ⑤趣味



経営総合学科

しらかわ ともひろ

白川 智弘 教授

①神戸大学大学院自然科学研究科地球惑星システム科学専攻博士後期課程修了 ②博士(理学)(神戸大学) ③知能情報学 ④長岡技術科学大学大学院工学研究科情報・経営システム工学分野 准教授 ⑤読書、散歩

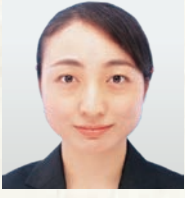


経営総合学科

やまもと まさや

山本 雅也 准教授

①中部大学大学院工学研究科工業物理学専攻博士後期課程満期退学 ②博士(工学) ③ヒューマンファクター、人間工学、生体情報工学、生体計測 ④名古屋経済大学経営学部経営学科 教授 ⑤飲食、自動車、サウナ



応用生物化学科

ふくだ ようこ

福田 容子 助手

①中部大学応用生物学部応用生物化学科卒業 ②学士(応用生物学)(中部大学) ③分析化学 ④株式会社ユニクミー分析事業本部技術部 ⑤お菓子作り、舞台鑑賞、動物園・水族館巡り



看護実習センター 保健看護学科

にしむら ちなつ

西村 知夏 助手・実習講師

①中部大学生命健康科学部保健看護学科卒業 ②学士(看護学)(中部大学) ③小児看護 ④名古屋市立大学医学部附属西部医療センター ⑤パドミントン、ハンドメイド製品を見ること、歌うこと



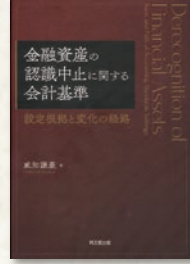
## 第35回清掃キャンペーン

10月18日午後、第35回清掃キャンペーンが行われ、C.U.P.(Clean Up Project in Chubu Univ.)の学生を中心にクラブ・公認団体所属の学生を合わせて約100人が参加した。1時間かけてキャンパス各所を清掃した。



## 新刊紹介

### 金融資産の認識中止に関する会計基準 —設定根拠と変化の経路—



著者 威知謙豪准教授  
(経営総合学科)

発行 同文館出版 2023年8月30日  
定価 4,400円+税

### World Englishes入門



共著者 今村洋美教授  
(人間力創成教育院語学教育プログラム(英語))

発行 昭和堂 2023年10月30日  
定価 2,400円+税

# Random Shot 第194回

## フットワーク軽く、相手に寄り添って



教務支援課  
高木 宏明さん

趣味は釣りやサッカー。釣りは同僚と長野県まで足を運び、ニジマス釣りを楽しんでいる。サッカーは観戦だけではなく、社会人サッカーリーグに所属し、現在は35歳以上のシニアリーグでプレーしている。

「人と接することが好きなので、学生や先生、保護者との会話が楽しいです」と語るのは、教務支援課勤務の高木さん。学生、保護者、教員からの問い合わせ対応、時間割編成や大学院に関する業務から、公的機関に提出する調査や学務に関する会議資料作成などを幅広く担い、授業運営が円滑に進むようサポートしている。「教務支援課は大学のいわば「関所」のような部署で、業務の幅が広いです。少しでも効率的になるよう同じ作業でも適宜見直し、改善しながら進めています」。学生や保護者の対応では、他部署と連携して進めることも。「学部事務室や指導教授、また学生サポートセンターなどと連携しながら、その学生に合う丁寧な対応を心掛けています。また先生には電話やメールでのやりとり以外にも、積極的に研究室に向かい、顔を見て話すようにしています。相手に寄り添う、柔軟な対応は保護者からの信頼も厚く、指名されることもあるという。

## 総合大学の強みを生かして

教育や福祉に興味があり、本学の心理学科で学んだ高木さん。「学生時代は学内・学外問わずいろいろな人と趣味のサッカーをしていました。飲み会も多かったですが、そこでコミュニケーション能力が身に付いたと思います」。卒業後は教育業界で仕事をしたいと本学職員の道へ。

学生の皆さんに「中部大学はワンキャンパスに文理問わず多様な学びが集結しています。他学科の科目を履修することもできるため、空きコマを利用してぜひ履修してみてください。今後の人生に役立つ学びがきっとあると思います。せっかく大学にいますのですから、学べるだけ学ばないともったいないですよ」とメッセージを送る。





## 作詞家

マイクスギヤマさん

1989(平成元)年度国際関係学科卒業

## 歌詞で描く物語

今やジャパンカルチャーの1つとして、世界中で親しまれているアニメソング(通称:アニソン)。本学国際関係学科(現国際学科)卒業生のマイクスギヤマさんはアニソン業界では有名な作詞家で、「ドラえもん」や「しまじろう」、シリーズものの「プリキュア」「スーパー戦隊」「仮面ライダー」などの子ども向けの番組から、「進撃の巨人」や「ワンピース」、「ウマ娘」など、アニメやゲームなど幅広い作品の主題歌・挿入歌・イメージソングなどに詞を提供している。

放送開始前の歌を作詞する時には、企画書から今後の展開を予測して書くこともあるというマイクスギヤマさん。「原作があるものは事前に読み、分析して作詞をしますが、原作が無いものはそうはいきません。限られた情報の中からストーリーを予測する想像力が、この仕事には重要です。想像して浮かび上がった言葉の中から取捨選択し、絵を描くように作詞をします。完成した歌詞は遠くから眺め、確認をしています。良い歌詞は、字面も絵のように美しいです」

### 新聞記者からの転身

学生時代は中国語を専攻し、勉強だけでなくバンド活動など、趣味にも没

頭した。「大学で国際情勢を学んだおかげで、世界を俯瞰<sup>ふかん</sup>的に見る広い視野を持つようになったと思います」。

卒業後は一般企業で広報を担当したが、多言語を話せる中国系アメリカ人の後輩に刺激を受け、24歳の時にオーストラリアへ。現地では「日豪プレス」の新聞記者となり、日本人に関する事件や事故、経済のニュースなどを担当し、7年ほど勤めた。その後、現地で知り合った友人と日本で音楽活動をしたいと帰国。当時、多くの有名アーティストを輩出していた沖縄県を拠点とした。「当初はアーティストに楽曲提供をしていましたが、オーストラリア滞在中の頃に日本のアニソンが大人気だったことを思い出し、自分の作った歌も世界中で歌われたらうれしいなど、アニソンの作詞家を目指しました」

「遊戯王デュエルモンスターズ」のエンディングテーマの作詞コンペに応募したところ見事採用され、そのまま音楽プロダクションに売り込んで作詞家に転身した。

### 子どもたちの歌声が力に

作詞家デビューの翌年、声優が交代したばかりのテレビアニメ「ドラえもん」

のエンディングテーマ曲のコンペが行われ、『踊れ・どれ・ドラ ドラえもん音頭』が採用された。それをきっかけに、「ドラえもん」関連の楽曲を多く手掛けることになった。「まさにドラえもんがボクの夢を叶えてくれました」。

自身が携わった作品の映画やショーは必ず見に行くというマイクスギヤマさん。「幼児向けアニメでは難しい言葉や漢字はなるべく使用せず、子どもが歌いやすいよう簡単な言葉で作詞をします。終演後に子どもたちが歌を口ずさんでいるのを見ると、うれしくなります」

### 歌で笑顔に

作詞家としてデビューをしたのは32歳だったというマイクスギヤマさん。学生の皆さんに、「ボクは回り道をして今があります。どんな時でも『始めるのに遅い』はないと思います。迷わずにどんなことでもチャレンジしてみてください。ボクは『リスナーの皆さんが幸せになりますように』と思いを込めていつも作詞をしています。興味があれば是非一度聴いてみてください。皆さんの背中を押すエールが見つかるかもしれません」とメッセージを送る。





# うら話



## 第60回中部大学祭 —中部大学祭実行委員会の活躍—



▲リハーサルの様子



▲11月4日夜に開催されたLively Parade



▲会場の設営

11月3～5日、第60回中部大学祭が開催されました。この大学祭を支えたのは、中部大学祭実行委員会の学生82人。過去3年はコロナ禍の影響から中止や対面を避ける企画への変更を余儀なくされ、それまでの「中部大学祭」を知らない学生たちが準備を進めることとなりました。卒業生や教職員とも連携し、さらに学外業者とのやり取りを重ねたりと連日遅くまで準備を進め、大学祭当日には朝6時から細分化したシフト表に沿って運営をしました。

今年は伝統の継承だけではなく、新しい試みにもチャレンジ。例年モノクロで制作していたパンフレットを、グラフィックソフトを使用してフルカラーにしデザインを再考案、より華やかに見やすくしました。また、4日の夕方には今回初めてとなる参加型パレード「Lively Parade」を開催し、来場者と一緒に踊りながら70号館前屋外特設ステージから不言実行館までを往復しました。学生たちの尽力により、活気溢れる中部大学祭となりました。

## 編集 後記

早いもので2023年もあと1カ月となりました。今年はコロナ禍以前の日常が戻り、さまざまな交流ができるようになりました。今号の特集(P.03)では、オハイオ大学と中部大学の学術交流協定締結50周年について掲載しています。多様な国際情勢の中でも交流を続けてきた深い絆に改めて感銘を受けました。「師走」の文字通り慌ただしい日々が続きますが、人とのつながりを大切に、協力して乗り切っていきたいですね。

### 中部大学通信 ウプト No.227

発行日/2023年11月30日  
発行/中部大学ウプト編集委員会  
編集/学園広報部 制作課  
〒487-8501 春日井市松本町1200  
<https://www.chubu.ac.jp/>  
Tel:0568-51-4465(制作課直通)  
E-mail:cuinfo@office.chubu.ac.jp